

MOOV products

大阪のものづくりが産み出したイモノ大集合。
奇抜なカタチやデザイン、機能美も豊かな製品を紹介。



関西広域連合が2府5県4政令市の
創造性あふれる旬の名品たちに光をあてました。
(第77回東京インターナショナル・ギフト・ショー春2014に出展)
<http://www.kouiki-kansai.jp/>

白さよりも、肌への優しさと 環境への思いやりに こだわったベビーウェア。



縫い目が外に出る
フラットシーマ縫製を採用。
裏地に色糸を出さないなど、
赤ちゃんの肌に触れる部分への
優しさにこだわって仕上げている。



A

大阪のものづくり企業とクリエイターをつなぐイベントで交流を深めたデザイン会社の協力を得て、ベビーウェア「天使のころも」を商品化した。肌への優しさを追求し、たどり着いたのが「白く染めすぎない」こと。過酸化水素だけで漂白することで繊維にダメージを与えず、柔らかく赤ちゃんに優しい肌触りを実現した。薬剤を使わないので環境にも優しい。染色した糸を混ぜて織った生地を晒すことで、さり気ない色柄が表現され、色落ちもしない。布おむつ、ゆかたなどの需要を背景に成長を続けた同社は、時代に即した商品開発を考える中で、少子化だからこそ赤ちゃんへの出費は積極的と読んだ。「今回の商品開発はBtoBの仕事を中心としてきた弊社にとって、BtoCの仕事に携わるための大きな一歩」と話す武田社長。「積み重ねたノウハウを活かして、エコをテーマにした商品開発を続けます」と、ものづくりへの思いは熱い。



株式会社武田晒工場

和晒加工及び晒生地の販売、ロールタオルの加工などを行う同社。「和泉ECO和晒」を商標登録し、環境に配慮した晒し方の開発や肌触りの優しい生地にこだわったブランド展開を図るなど、創業103年の伝統を踏まえつつ、時代に即した製品開発に積極的に取り組む。

<http://www.takeda-sarashi.jp/>

●天使のころも

こだわりの眼鏡やサングラスがリーズナブルな価格で手に入りやすくなり、お気に入りの中からT.P.O.に合わせた「掛けこなし」が手軽に楽しめる時代に。複数個のメガネをスマートに収納でき、今日掛けたい1本をスムーズに取り出したい。そんな思いから「自分が使うために」父親の鉄工所に製作を依頼したKOZZ createの羽谷貴志社長。上がってきたスタンドは、大きく重く、同氏のデザインセンスと噛み合わなかった。しかし3つ作られた試作品の一つを試しにオークションに出品したところ、即日落札。市場ニーズの存在を感じた同氏は、自らが営むデザインビジネスの経験を生かしつつ工夫を重ね、シンプルで機能的な「回転式メガネスタンド」を開発。わずか約10cmの幅で5本のグラスを収納できる本品を誕生させた。「デザイナーと鉄工職人とのコラボから生まれた自信作」と羽谷社長は胸を張る。

KOZZ create

KOZZをコッツと発音する社名の由来は、「ごっついエエやん」と言う時のごっついから濁音をとってスマートにしたもの。コッツコッツ工夫を重ねていくとの思いも込められている。2013年創設、ものづくりとデザインの垣根を跳び越えるオモシロ・カンパニー。

[楽天 SHOP] <http://www.rakuten.co.jp/monotkc/>

●monoKOZZ 回転式メガネスタンド

デザイナーと鉄工職人のコラボが生んだ シンプルで機能的なアイアン・プロダクト。



鉄の質感と直線美にこだわり、
一つ一つ職人の手作業で製作。
インテリア小物としても秀逸。



針も糊も使わずに、つなぎ合わせる面白さ！ 子どもも大人も楽しめるフェルトのパズル。



正方形や六角形のフェルトを
つなぎ合わせて、玩具として遊べるほか、
敷きマットやインテリアグッズなども
組み上げられる。



C

フェルト地のピースをつなぎ合わせると、さまざまな形が出来上がる。「f-pzl(エフパズル)」を代表取締役社長の西島洋美氏が開発したきっかけは、自営業のオーダーメイド服のデザインを考えていた時だった。「フェルト地を切ったりねじったりするうちに、こんなにやくの手綱結びのように立体的な状態で固定できると分かり、ユニークな服のデザインが出来ました」と同氏。その後、日本ホビー大賞への応募を思い立ち、ワニの形にフェルト地を立体的につなぎ合わせて作った全長約2mの「縫わんぐるみのワニ君」が見事に入賞する。高い評価を受けて、素早く意匠権と実用新案を取得。欧米への販路開拓も視野に入れ外国出願の取得に向けても奔走する。「ホビーへの挑戦はひらめきでした。知育玩具として評価をいただくドイツの企業を手始めに、市場の開拓に励みたい。ペットボトルのリサイクル材を含む自社製のフェルト地で、つなぐ穴を大きく改良して作業がよりスムーズになる新製品を開発中です」と同氏は言葉に力を込める。



株式会社 f-pzl

西島氏は照明器具の設計の仕事を経験した後、「立体を平面の製図で表現するのは同じ」と服のデザインを始めた。服からホビーへのひらめきは、そんな旺盛な好奇心から生まれたものだろう。パズルで物を作る楽しさを、ワークショップなどで伝えたいという。

<http://www.f-pzl.com/>

●f-pzl (エフパズル)

編集後記

今回の特集「対応力」について考えていると、How can I use this? という英文が浮かびました。自己啓発の分野でカリスマ的な人気を持つ、アンソニー・ロビンスの言葉で、「(困難を)どう活かすか?」という意味だと思います。ハードな状況にぶち当たった時に、逃げたり、沈んだりするかわりに、その状況をチャンスととらえ、困難に対応することで「ちゃっかり成長してしまう」。そんなしたたかさが、ものづくりビジネスをもっと楽しくしてくれそうです。(山蔭)

スタッフ

企画・編集
(株)ショーエイベストコーポレーション

編集長 山蔭ヒラク(ショーエイベスト) 写真 岩西信二(IPS) アートディレクター 高谷朋世(キューブデザイン)

ライター 工藤拓路(ショーエイベスト) 印刷 昭英印刷(株) 金井直子(ショーエイベスト)

MOOVpress 09 Apr. 2014

大阪のものづくり企業を知る。動く。繋がる。[ムーブプレス]

発行
MOBIO(ものづくりビジネスセンター大阪)
大阪府商工労働部 中小企業支援室 ものづくり支援課
〒577-0011 東大阪市荒本北1-4-17(クリエイション・コア東大阪内)
TEL.06-6748-1011 FAX.06-6745-2362
<http://www.m-osaka.com/>

2014年3月26日 発行